

無料低額診療のお話 聞きました

～西内野支部～



いまだ活動の案内

12/9（木）西内野支部では『無料低額診療（無低診）』について本部より高井さんとケアネーヅの小川さんを迎え、「無低診」の制度の仕組み、事例などの話を伺いました。20人ほど参加。「ゆうばえ」のケアネーヅさんも参加。小川さんは「私たちが頑張っても手が届かないことがあります」「皆さんが地域とつながいてくれることが大切なんです」という言葉がとて心に残りました。

～参加者の感想より～

・「無低診」よく知らなかった。聞いたことがなかった。/すばらしい尊い制度です。/みなさんによく知ってもらうことが大切/国がもっと補助金を出すべきだ/私たちが医療機関と困っている人をつなぐ役割だと思う

おもろいっぺ願ひたいします

知らせていきます。とつて気軽に「意見」要望をお寄せください。今年
今後「ひろば mini」「院内掲示」「ホームページ」などで様々な情報をお
しりなどの皆さんと、日ごろ綿密に連絡を取っています。
ネット端末を並べ、訪問看護、ケアマネジャー、訪問薬剤師、訪問リハ
護の専門家の連携が重要です。当院では、医療用電子カルテの隣にスワ
なえるためには、救急対応だけでなく、日常の療養生活を支える医療・介
地域の見守りが欠かせません。とりわけ「ときどき入院、ほほ在宅」をか
み慣れた地域で安心して暮らしていただけるためには、医療と介護、生活支援、
長寿社会となり、人生百年時代も夢ではなくなりました。いつまでも住
ようになることを願います。

さて、昨年お知らせした「在宅医療・救急医療連携推進」ハット事業
業」がようやく西区で動き始めました。対象は介護保険認定を受けている
高齢者300人です。今年度は持病・老健入居者とショートステイ利用者が対
象であり、来年度は居宅を名めたすべての利用者が対象となります。まだ
登録が始まったばかりですので、本稼働は4月以降になるかもしれません。
この事業を成功させ、救急車を呼んでも、いつになっても玄関前から出発
しない事態が減ることを、かかりつけの身近な病院で手当てを受けられる
ようになることを願います。

新年あけましておめでとーいぞうします

N02

☆ホラインテア求めてます

～あなたの力をかき下さい～

○「明るい医療」「ひろば mini」など

ニュースの配布と発送作業

◆ 配布はご自宅の近くの会員さん宅へ
ポスティング

◆ 発送作業は、毎月第1木曜日（原則）
に折り込み・仕分します。



1月予定

12日（水） 幹事会

